

令和8年第3回教育委員会定例会 議事録

1 教育長あいさつ

早くも2月の最終週となりました。委員の皆さま、体調を崩されてはおられませんでしょうか。

まだインフルエンザによる学級閉鎖が心配されます、市内小中学校も穏やかに教育活動を進めていただけることを願っています。

令和7年度もいよいよ大詰めとなりました。それぞれ学校では、様々な課題を抱えながらも、学校教育目標の実現のために、チーム学校としてまとめ、リーダーシップを発揮していただくことを期待しています。

来週から3月です。3月7日(土)には中学校全てで卒業証書授与式が、小学校では3月17日(火)に3校、18日(水)に2校、19日(木)にも2校で卒業証書授与式が予定されています。教職員についても、別れの季節となります。卒業生も在校生にも、これまでの学校生活に感謝しつつ、新たな一歩を厳粛な気持ちで臨んでほしいと思います。委員の皆様には、ご臨席並びに教育委員会告辞をしていただきますが、どうぞよろしくをお願いします。

2 教育長の報告 (別紙 教育長勤務報告のとおり)

3 議事録署名委員

○教育長

本日の署名委員は、天倉委員と佐々木委員をお願いします。

4 議決事項

① 指定校変更(校区外就学許可)について(在校生分)

○大石学校教育課長より説明

変更理由) 許可基準1-(2) 「学年途中の転居」 3件

許可基準4 「共働きで、希望校の校区内に保護者又は保護者に代わる者がいる場合」 1件

許可基準5-(6) 「友人関係への配慮等」 2件

<委員からの意見・質疑なし>

<全員一致で承認>

5 報告事項

① 江津市学力調査及び学びのアンケート結果の概要について

○千代延指導主事より説明

令和7年12月15日に江津市独自で実施した学力調査の結果概要について説明

<委員からの意見・質疑等>

○教育長

概要を聞いて各委員の感想等を聞きたい。

○岡田委員

結果を踏まえて、担任や教科担任の反応はどういったものがあるのか。

○千代延指導主事

点数に関しては、一喜一憂するが、この結果を基に、子どもたちの誤答分析をして、同じ問題を使

って復習し、テストの際はできなかつたが、今はできるという子どもがいたりする。このテストに出てくる問題は、間違いが起りやすかつたりとか、苦手と感じているところも多く出るので、次の年の同じ単元に出すとか、間違いの起きやすい問題を意識しながら学習を進めたりしている。

○岡田委員

わからないことをそのままにしておくのは、もったいないと思っている。わからないままだと、その授業が苦痛でしかなくなってしまう。

○千代延指導主事

子どもたちの意識調査の中で、例えば「数学の授業はよくわかる」とか「先生の話をよく聞いている」「分からないことがあれば先生に質問している」などの項目があるが、ここが低い場合は、授業の見直しや子どもとの向き合い方など、担任や教科担任だけではなく学校全体で見直しをする必要がある。

ただ、基本的には学校で日ごろからわかっていることが、この調査で客観的に浮彫りになっていると思う。

○教育長

教育委員会としては、指導法はどうなのか、授業のスタイルや家庭学習の課題は今のままでいいのかなど、各学校でしっかりと振り返ってほしいと校長会で伝えているところ。

○佐々木委員

子どもたちが家庭で勉強をしないとされているが、自分たちが子どものころは、特に中学校なんかは予習をしておかないと授業に入っていけない雰囲気があったが。

授業改善も大切だが、家庭学習も重要なので、保護者との連携も図っていく必要がある。家庭のことなので踏み込むのは難しいと思うが、踏み込まなくてはいけないと感じている。

○天倉委員

この結果を受けて、各校長先生はどういう受け止めなのかと思った。担任に指導方法の工夫を求めただけではなく、指導力のある教員を配置したり、指導体制を工夫したりなど必要だと思う。

○教育長

教職員の人事異動に関しては、各校長から様々な要望が出るが、勤務年数やへき地へのルールなど様々なことがあるので、なかなか要望通りということにはならないが、できるだけ要望に沿えるよう努力はしていきたい。

○天倉委員

学校保健委員会の研修の際に、多くの課題があると感じたが、特に家庭教育が重要だと思った。自分が学校に勤務していたときは家庭教育学級や講演会など積極的に行ったが、本当に参加してほしい家庭は参加が少なかった。なかなかいい対策が思い浮かばないが、家庭教育を進めることが重要と思っている。

○佐々木委員

学校に支援員を配置しているが、子どもの実態がよくわからない中で支援をする状況があるみたい。学校においては全ての職員が子どもたちのために、情報の共有をしながら意見が言えることが必要と考えている。

○教育長

家庭教育は重要と考えているので、現状をしっかりと保護者に伝えていくことは大切と思っている。ホームページやPTA 総会、役員会など様々な機会をとらえて、保護者に子どもたちの実態を伝えていきたいと考えている。

そのためには、支援員の力も借りながら学校全体で対応していくことも必要である。

また、学校保健委員会の際に、子どもたちの睡眠時間が短く、睡眠負債を抱えているという話があった。この実態を保護者に認識していただく必要があると考えている。

いただいた意見を校長会などで学校に伝えながら、学校教育の充実を図りたいと思う。

② 心の相談箱及び見守りフィルタの対応状況について

○大石学校教育課長より説明

心の相談箱は該当なし、見守りフィルタ4件の対応について報告。

③ 令和7年度3月補正予算について

○大石学校教育課長より説明

④ 令和8年度当初予算概要について

○大石学校教育課長より説明

○国沢社会教育課長より説明

○藤岡人権同和教育課長より説明

○天倉委員

校内教育支援センターは桜江小、中の校内に設置するのか。指導員は校内外の者がするのか。

○大石学校教育課長

設置は各学校の空き教室等を予定している。

指導員に関しては、現在教員免許を持った指導員、支援員が配置されているので、この者にお願
いできないか検討中である。

開設は、毎日というのは難しいかもしれない。

○教育長

桜江は、「あおぞら学園」に距離的な問題で通いにくい。

担任から、校内教育支援センターがあるよと、本人や保護者に伝えて、利用することにより、少しず
つでも前向きになってもらえればと考えている。

○天倉委員

学校に行きづらい子が学校内の支援センターに行くだろうかと思うが。

○大石学校教育課長

校内設置が原則だが、状況によっては他の施設の設置も検討する必要があるかとも思っている。

○佐々木委員

保護者の利用も含めて、そういう立ち寄る場所があればいいと思う。

○教育長

保健室登校に関しては、保健室の本来の機能が損なわれてしまうので、相談室や、個別学習室な
どに校内教育支援センターを設置してはどうかということ。

不登校の子どもの居場所を考えたとき、例えば「ときまち」があり、もう少し学校に近い感じで「あおぞ
ら学園」があり、その次が教室となればハードルが高いので、こういった場所があるといいのではと考
えている。

本件については、各学校とも賛同してもらっている。

○天倉委員

学校サイドから言えば「どうぞ利用してください。」となるが、子どもや保護者サイドからは、学校でな
い場所の方が行きやすいのではないかと考えるが。

○岡田委員

学校の門をくぐるというのは、少しハードルが高いのではと感じる。

○教育長

当然、担任と保護者、本人と3者でしっかり話をしながら、場所だけではなく、専任の先生が付いて
もらえることなどメリットもたくさんあるので、毎日ではないが、安心して行けるのではと考えている。

4月からきっちりとやっていくということではなく、柔軟性を持たせながら、いろいろな可能性を探っていきたいと考えている。

○岡田委員

状況によって手直しをしながら進めてもらえばと思う。

○教育長

4月以降、状況の報告を行いながら進めていきたいと思う。

○天倉委員

給食費の無償化や改定などについて、保護者がはっきりわかっていない現状がある。

また、食材単価の関係で地産地消についてはどのように考えているのか。

○教育長

給食費の改定等については、3月議会に予算などを提案しているので、議決後、周知を図ることとしている。

○国沢社会教育課長

地産地消については進めているところだが、量の確保が難しいことや単価がどうしても高くなることなどがあり、思うように増えてはいない状況である。

生産者は、子どもたちのために安全な食材を提供をと頑張っておられるし、学校に行って授業の中で話をしたり、魅力を発信する努力をされたりしている。

子どもたちも江津で生産された野菜を食べているんだという意識を持つし、江津市の生産者のこともわかって勉強になるので、今後も推進していきたい。

○天倉委員

ぜひ推進をお願いしたいと思っている。生産者が分かるということはとてもいいことだと思う。

○国沢社会教育課長

生産者は、子どもたちから手紙をもらったりして、とても励みになるし、子どもたちが喜んで食べてくれていることは、張り合いになると言っている。

○天倉委員

保護者からは、安い方がいいという意見があるかもしれないが、地産地消は大事だと思う。

○岡田委員

スクールサポートスタッフの予算が削られたが、現場の声はどうか。

○大石学校教育課長

本人には状況の説明をしたのちにアンケートを実施し、それぞれの希望を調査している。そのまま続ける者、他の支援員業務と兼務をする者、やめる者など様々である。

○教育長

この業務は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、消毒作業など本来教員が行う業務でないものを行うために設立されたもので、現状では役割を終えているものである。県の補助金も減るということで本人、学校にも理解を得ている。

⑤ 教育財産の処分について

○国沢社会教育課長より説明

水の国の所蔵品の処分について説明

7 その他

① 令和8年度島根県公立高校入試の状況について

○木村指導主事より説明

○天倉委員

総合選抜制度について、面接があるが、小規模校では面接の指導ができるが、大規模校は難しい
ということ聞いたが。

○木村指導主事

本件については校長会の中で議論がされているが、どう整理がされているかは把握していない。

○天倉委員

高校の無償化により私立を希望する者が増えたように思うが。

○木村指導主事

その学年の雰囲気とか友達関係とかで変わってくるので、かなり年度によって違いが出ることはある
と思う。

○教育長

3月4日・5日に一般入試があるので、全員が合格してくれればと思っている。

次回定例会 予定

3月27日(金)10:00 決定

午後3時53分終了